

川岸遺跡と
調査成果

川岸遺跡は浅間町2丁目地内に所在し、落合川右岸の高台上に営まれた旧石器から江戸時代までの複合遺跡です。

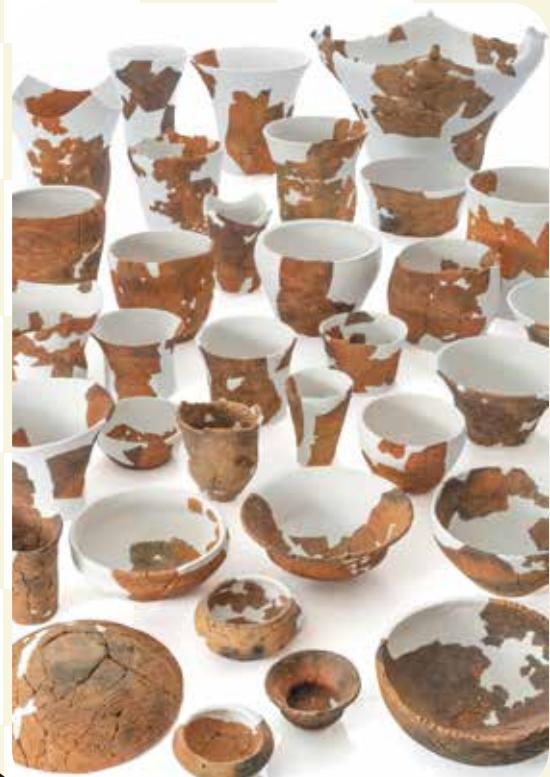
令和元年8月から約2年半をかけて12,600m²を対象とした大規模な発掘調査が行われ、旧石器時代の環状ブロック群2基、縄文時代の竪穴建物27棟、中近世の掘立柱建物16棟などの遺構と遺物が多数検出されました。

開催場所

東久留米市立生涯学習センター
(まろにえホール)

〒203-0054 東久留米市中央町2-6-23
※公共交通機関をご利用ください。

土坑群から出土した縄文時代前期後葉の土器▶



第一部 講演会(9:50-12:25)

- ・講演1 山崎 丈氏
(東久留米市文化財保護審議会委員)
「川岸遺跡の概要」
- ・講演2 飯田 茂雄氏
(独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター研究員)
「川岸遺跡の旧石器時代について」
- ・講演3 奈良 忠寿氏
(学校法人自由学園最高学部教授)
「川岸遺跡の縄文時代について」
- ・講演4 野本 祐司氏
(開智国際大学准教授)
「川岸遺跡の中近世について」

第二部 シンポジウム(13:15-17:05)

- ・趣旨説明 尾田 譲好 氏(東京都埋蔵文化財センター)
- ・基調講演 伊藤 健 氏(元東京都埋蔵文化財センター)
「環状ブロック群とは何か?」
- ・基調報告 佐藤 悠登 氏(東京都埋蔵文化財センター)
「川岸遺跡の環状ブロック群」
- ・発表1 加藤 秀之 氏(東京都埋蔵文化財センター)
「川岸遺跡の人々の生活・活動エリア」
- ・発表2 間 直一郎 氏(東京都埋蔵文化財センター)
「川岸遺跡の人々が利用した石器石材」
- ・発表3 塚田 清啓 氏(東京都埋蔵文化財センター)
「川岸遺跡の人々の石器を作る技」
- ・発表4 堀 恭介 氏(東京都埋蔵文化財センター)
「川岸遺跡の人々の狩猟具」
- ・シンポジウム発表者によるディスカッション

※上記の講演会及びシンポジウムの発表タイトルは、当日変更となる場合があります。

開催概要 講演会・シンポジウム・出土品ミニ展示(ロビー)・遺構VR体験会(2階集会学習室4)

開催時間 出土品ミニ展示(9:30-17:00)・遺構VR体験会(10:30-16:15)

対象 どなたでも(遺構VR体験会は中学生以上の方) **定員** 500名(申込不要・入場無料)

アクセス

- 西武池袋線「東久留米駅」西口から徒歩1,200m(約15分)
- 西武池袋線「東久留米駅」西口より西武バス錦城高校経由 武蔵小金井行(武21系統)「中央図書館」下車徒歩130m
- 西武池袋線「東久留米駅」西口より西武バス御成橋経由 武蔵小金井行(武12系統)「神明社」下車徒歩200m
- 西武新宿線「花小金井駅入口」より西武バス御成橋経由 東久留米駅行(武12系統)「中央図書館」下車徒歩130m

問合せ先 東久留米市教育委員会生涯学習課文化財係 ☎ 042-472-0051

